

きょうとう No.8

今こそ、家庭や地域の出番!! ~コミュニティ・スクールで「多様な他者との協働」の実現を!~



【講師】長野県教育委員会
信州型CSアドバイザー
伴 美佐子 氏

11月13日、津山リージョンセンターにて、地域学校協働活動研修会(後期) 兼 人づくりまちづくり研修会②を開催いたしました。6月に引き続き、今回も2つの研修会を兼ねて開催し、**教職員や学校運営協議会委員等の学校関係者、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)、社会教育委員及び公民館職員等の地域関係者**、そして、**各市町村の行政担当者**等、より多くの、より幅広い関係者が共に学ぶ機会とすることができました。

研修会では、まず、「少子高齢化」「ひきこもり・虐待」「子どものSNS利用」「これからの子どもに求められる力」等、子ども達をめぐる幅広い視点で、全国あるいは岡山県のデータをもとにしたクイズに答えながら現状を知っていただきました。その上で、「**今こそ、家庭や地域の出番!!**」として、**コミュニティ・スクールの意義や効果的な運営**につながるヒント、豊富な御経験からの実践事例について、具体的にお話しいただきました。また、YES/NOカードを使ったワーク『CSクロスロード』をとおして、**熟議のあり方や多様な他者との協働の大切さ**について、実感していただくことができました。本研修会での学びについては、参加者から所属の学校や地域で共有されることを願っています。そして、積極的かつ効果的に活用されていくことを期待しています。



子ども達のことについて、**地域と学校が本音でしっかり話をしていかなければいけない**と思いました。

学校運営協議会に児童・生徒を巻き込み、子ども達の意見を大切にしながら進めていきたい。

『CSクロスロード』では、「正解はない」ということで、**他者との意見交換をとおして、様々な視点の幅広い考え方があってよい**ということを体感しました。

学校運営協議会委員にあて職を入れない等、CS立ち上げに向けて具体例を知ることができました。



津山教育事務所では、**コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進**に向け、「**学校運営協議会の設置(コミュニティ・スクール導入)**」と管内全校での「**地域学校協働活動推進員委嘱**」に向けて支援を行ってきました。各市町村の積極的な推進もあり、各校でのコミュニティ・スクールの導入および地域学校協働活動推進員の委嘱が進んでいる状況で、令和6年度以降も、その「**体制づくり**」に**見通しがついた状態**となっています。

今後は、「学校運営協議会の効果的な運営」や「地域学校協働活動推進員の積極的な動き」、「地域学校協働活動の充実」等、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向け、「**質の向上**」に**重点を置いていく時期**を迎えています。年度末は振り返りの時期となります。ぜひ現状を把握し、今後の動きに活かしていただけたらと思います。

【問合せ先】津山教育事務所生涯学習課 0868-24-8703

管内コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働活動推進員の委嘱状況 R5.3末

コミュニティ・スクール導入率	小学校			中学校			義務教育学校		
	令和5年度	42/72校(58%)	21/27校(78%)	1/1校(100%)	令和6年度(予定)	62/70校(89%)	20/26校(77%)	2/2校(100%)	
地域学校協働活動推進員委嘱率	小学校			中学校			義務教育学校		
	令和5年度	71/72校(98%)	26/27校(96%)	1/1校(100%)	令和6年度(予定)	70/70校(100%)	26/26校(100%)	2/2校(100%)	